

- 因果応報がテーマの寓話
  - 
    主人公カンダタ
    - 殺人や放火を重ねた大泥棒
    - たった一度だけ善行を行った
  - 御釈迦様
    - 極楽から蜘蛛の糸を垂らす
    - ⇒ 彼が善行をしたので救おうとした
  - 
  - 糸が切れる → カンダタは再び地獄へ
- 芥川が描く天国と地獄
  - 対照的な二つの世界の描写
    - 【極楽】蓮の花など
    - 【地獄】血の池など
  - 
  - 印象的なシーン
    - 御釈迦様が蓮池から地獄を覗き込む
    - 二つの世界の不思議な距離感
    - それらをつなぐのが一筋の蜘蛛の糸
- 人間の心の複雑さ
  - 
    カンダタ
    - 小さな生き物を慈しむ心
    - しかし、決定的な瞬間に利己心を露わ
    - ⇒ せっかくの救いのチャンスを台無し
  - 人間の本質
    - 誰もが持っている他者への思いやり
    - いざという時につい自分を優先
  - 極楽の蓮の花々 → 人間の善悪を超えた大きな世界の存在